

## 令和5年度 助産師ラダーレベルⅡ 支援システムポイント制の自己チェック表

		所属		氏名				
項目	主催	研修内容と課題レポート		測定ツール	ポイント		実施日	備考
					必須	選択		
倫理的感応	ケアリングの姿勢	看護部	☆実践事例をまとめ、カンファレンスを行う	R	2			ケアリング項目001~005
マタニティケア能力	情報収集	記録委員会	☆特定妊産褥婦、受持ち患者1事例(アセスメントシート・パターン要約・看護計画・形式の監査・妊婦保健相談・看護要約、妊産婦支援票)		2			
		院外	★日本助産評価機構オンデマンド研修「臨床薬理」	R		2		
	/アセスメントの明確化	院外	★日本助産評価機構オンデマンド研修「新生児のフィジカルアセスメント」	R		2		
			★日本助産評価機構オンデマンド研修「臨床病態生理」	R		2		
	診断	院外	★日本助産評価機構オンデマンド研修「臨床推論」	R	2			
	計画立案	看護部	☆妊産褥婦や家族の思いや希望に沿った個別的な助産ケアの計画立案		1			妊娠期の診断とケア104.105事例で確認
	実践	看護部	☆妊産褥婦や家族の思いや希望に沿った個別的な助産ケアの実施		1			妊娠期の診断とケア107事例で確認
乳幼児安全教室の運営に参加する			D		1			
		★日本助産評価機構オンデマンド研修「災害時対応」または実践	R	2				
評価	院内	☆多職種によるカンファレンスにて事例検討	R		2			
専門的自律能力	教育	院外	★日本助産評価機構オンデマンド研修「後輩指導・助産師教育」	R	2			
	倫理	医療倫理コンサルテーションチーム	医療倫理セミナー(3回以上出席)	A	1			
院内		性教育またはいのちのいのちの授業を実施(個人または小集団)	D		1			
ウイメンズヘルスケア能力	女性のライフサイクルからの対サイク	看護部	☆出前講座(更年期障害)の指導案を作成	R	2			
			産後ケアWG:事例検討会にファシリテーターとして参加する	R		2		
			プレコンセプションケアについて病棟勉強会を実施	D		1		
	妊娠から子育て期への支援	院外	乳幼児の疾患についての研修を受講する	R	2			
			地域における子育て支援	G・f		2		
			メンタルヘルスに関する研修を受講する	R	2			
			発達障害についての研修を受講する	R	2			
	現代女性の健康問題	院内	月経異常や月経障害等を有する女性の支援を計画する	R		2		
			不妊・不育についての当院の取り組み:産婦人科医	R	2			
	セルフヘルプ	院外	★日本助産評価機構オンデマンド研修「多様な性の支援」	R	2			
1か月検診時に家族計画について指導する			D		1			
ポイント総計					27	18		
クリニカルラダー更新時必要ポイント数 / 受講ポイント数					20/	10/		
* 測定ツール・・・A:アンケート・感想文 C:理解度テスト C・W:理解度テストとワークシート D:演習を観察 G・f:復命書 R:A4レポート1枚 * 点線:いずれか ★:eラーニング ☆:提出書類 * 個人業績表・・・院内・院外研修受講、e-ラーニング視聴等は個人業績表を記入し受講・視聴確認できるものを添付する。(例:受講証明書 参加証等)								